

情報科学院と専攻の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1) 情報科学院の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学院は、学位授与方針で掲げる人材を養成するため、次の特色ある取組により情報科学専攻の教育課程を編成・実施します。

- ・先端研究分野における最新教育を実現するために、主専修・副専修による双峰性教育（修士課程）、複数の専修を修得する多峰性教育（博士後期課程）を行うと同時に、多様で柔軟な科目の履修も可能とします。
- ・国外連携大学との国際連携情報学科目や各コースが実施する英語科目により、英語で修了可能なカリキュラムを実現します。これらの英語講義や、国外大学の教員との国際共同指導プログラムなどを実現し、国際性の涵養を目指します。
- ・社会人の学び直し拡充や国際連携情報学科目を支えるためのeラーニング（遠隔型教育システム）の活用を実施します。また学内の他学院・研究所・センターや、国外連携大学などとの共同教育プログラムのほか、政府系研究機関や、連携企業との共同教育プログラム・インターンシップなど特色ある教育プログラムを導入します。

2) 情報科学専攻の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学専攻では、学位授与水準に定めた能力を持つ人材の育成を目的として、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

・修士課程

情報科学における広い基礎的素養と深い専門性を修得するため、所属するコースの専門科目（主専修科目）のほか、他コースの専門科目（副専修科目）を履修する双峰性教育を実施します。さらに、国際的な視野と行動力を身につけ、境界領域における知識を獲得するため、国際連携情報学科目、実践型科目、文理融合科目を開講し、多様で柔軟な科目の履修を可能とする教育課程を提供します。また、実践的な技術力、コミュニケーション力等のイノベーションリーダーとしてのスキルを獲得するため、特別演習を実施します。

・博士後期課程

情報科学を中心とする広範囲な分野における基礎的素養を修得するため、情報科学院情報科学専攻修士課程修了者については、修士課程で履修したコース以外の専門科目を履修し、それ以外の者については、コース専門科目または専攻共通科目から入学以前の履修科目と重複しない科目を履修することで、多峰性教育を実施します。さらに、国際連携や異分野連携による研究を行う力を養成するため、国際連携情報学科目、実践型科目、文理融合科目を開講します。また、情報発信力、リーダーシップ等のフロンティアリーダーとしてのスキルを獲得するため、特別研究を実施します。

学修成果の評価の方針

I 成績評価の基準

1. 成績評価にあたっては、本学院の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる本専攻の「養成する人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）」を踏まえ、授業科目ごとに「到達目標」を設定し、履修者の学修成果の達成度に応じて行います。
2. 本専攻における授業科目では成績分布の目安は示しません。
3. 授業科目ごとに適切な「到達目標」が設定されていることと、それに基づく成績評価の結果を、学期又は年度ごとにコース会議で検証し、必要に応じて担当教員に「到達

目標」の再検討を依頼します。

II 成績評価の方法

1. 成績評価は、試験結果、レポート評価、成果発表（プレゼンテーション）、学修態度等により行います。
2. 授業への出欠状況を点数化し評価に用いることはしません。
3. 具体的な評価方法は、授業担当教員が定めます。